お客様へ：真心をこめて…「ありがとうございます。」

KAAZ カーツ株式会社

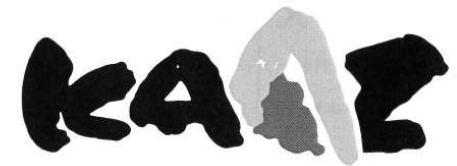
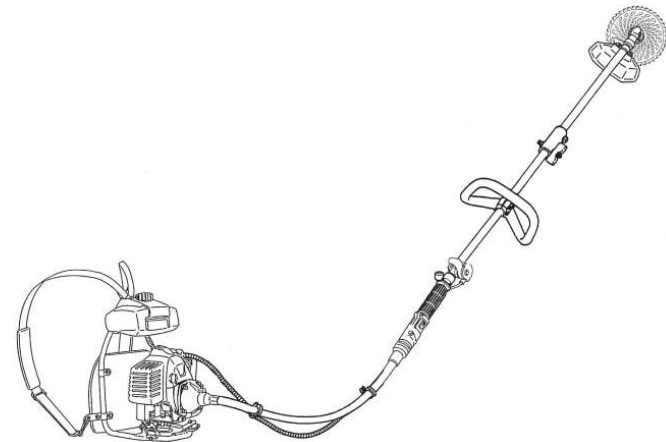
本　　社　〒704-8588 岡山県岡山市東区西大寺五明387-1　【営　　業】TEL.(086)942-1118　FAX.(086)942-1120
【受注・問合せ】TEL.(086)942-1117　FAX.(086)943-9364

東日本営業所　〒981-3361 宮城県黒川郡富谷町あけの平1-12-1-101　TEL.(022)779-0360　FAX.(022)779-0361
九州営業所　〒862-0911 熊本県熊本市東区健軍2-11-58 ライズ神水(クワミズ)1F　TEL.(096)285-4331　FAX.(096)285-4330
カーツ台湾　中華民国台湾省台中縣神岡郷中山路360巷7号

【ホームページ】http://www.kaaz.co.jp/　【Eメール】kaaz@kaaz.co.jp

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

取扱説明書

VRP490

背負式刈払機

はじめに

- この取扱説明書は、『背負式刈払機』の正しい取り扱い方法と使用上の注意事項について記載しています。
  ご使用前に必ず、よくお読みいただいて十分理解したうえ、正しくご使用ください。
- また、作業で起こりやすい事故を未然に防止し、安全に作業するための重要な注意事項に ⚠ 印の『警告サイン』を付しています。よく読んで必ず守ってください。
- お読みになった後も大切に保管し、分からない事があったときは、そのつど取り出してお読みください。
- 刃物の取り扱いについては、その説明書を必ずお読みください。
- 刈払機は雑草を刈るために設計・製造されています。枝打ち作業等、他の目的には絶対に使用しないでください。
- 刃物・チップソーは雑草刈りに使用してください。木や灌木を切らないでください。
- 機械は絶対に改造しないでください。
- 品質・性能向上もしくは安全上、製品の仕様変更などにより、本製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠注意：
この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こり得るすべての状況や状態を表すものではありません。
製品の安全性には十分気を配っておりますが、作業する方や保守をする方も安全には十分な注意・配慮をお願いします。

46019-425
14-06

－目次－

▲ 安全作業説明

お客様の安全を守る

▲警告：安全作業をするために

ご使用前に、この取扱説明書をお読みになり、機械の機能と取り扱い上の注意事項を十分ご理解したうえで使用してください。

取扱説明書はいつでも読めるように大切に保管してください。

▲警告：機械を貸すとき、譲渡するとき

- 機械と一緒に取扱説明書を渡してください。
- 取扱説明書をよく読み、機械の機能と取り扱い上の注意事項を十分ご理解したうえで使用するように指導してください。

▲警告：オプション部品をご使用のとき

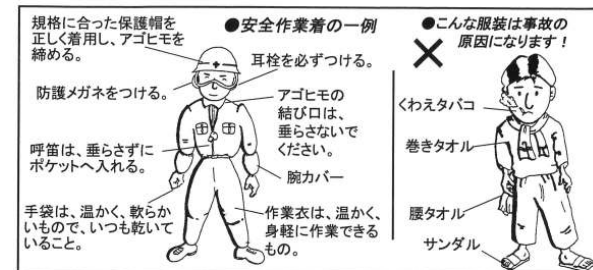
- 当社カタログおよび取扱説明書に記載している指定部品を販売店でお求めください。
- とくに刃物は危険ですので、当社純正刃物のみを使用し、刈払機に付属している刃物と同じ直径のものをお求めください。
- 不明な点は販売店にご相談のうえ、取り扱い上の注意を十分ご理解したうえで使用してください。

▲警告：使用上の注意

1. 雑草刈り専用です。枝打ち作業など、他の目的には使用しないでください。刃物が割れる等により人身事故を引き起こす原因になります。
2. 疲れているときは、『刈払機』を使用しないでください。作業中疲れたときは、作業を中断し休憩してください。
3. 酒を飲んでいる人、 薬物の影響のある人、妊娠している人は、機械を操作しないでください。
4. 子供や『刈払機』の知識のない人に機械を操作させないでください。
5. 初めてご使用になる場合、実作業に入る前に熟練者からの取り扱い指導を受けてください。
6. 『刈払機』を使用する作業を行う事業者は、作業に従事する人に厚生労働省が定める「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講させてください。
7. 次のような場合は使用しないでください。
   夜間や霧など作業現場周辺の安全確認が困難な場合。
   悪天候時(雨天、雷、強風、霧)の作業等、足下が滑りやすい場合。
8. 傾斜地や足場の悪い場所での作業は避けてください。
9. 屋内または鉱内など、換気の悪い場所で作業しないでください。エンジンの排気ガスは有害です。吸わないように注意してください。
10. 暑熱寒冷のときは、長時間の作業は避けて、十分な休息をとってください。
11. 1日の作業時間は2時間以内とし、 30～40分作業したら10分間休憩をする等、 健康管理をしてください。

▲警告：服装・保護具

ご使用になる際は、作業にふさわしい服装を整え、保護具を着用してください。

1.長袖、長ズボン(裾じまりのよいもの)
2.手袋
3.防護メガネ
4.保護帽 (ヘルメット等、JIS規格などの相当品)
5.安全靴等(すべり止めの付いたもの)
6.耳栓

▲警告：使用前の注意事項

1. 作業者から半径15m以内は危険区域です。この中に人が立ち入らないように標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示を行ってください。数台同時に作業するときもこの距離を守ってください。
2. 作業場所の空缶・針金・小石・ビン等を取り除いてください。機械の故障の原因となるだけでなく、人身事故や物損事故および死亡事故の原因となります。
3. フェンスなどの近くでは作業しないでください。
4. 各部を点検し、ゆるみ、損傷、変形、グリス・燃料の漏れなどの異常がないことを確認してください。とくに刃物締付ナットまたは、セットボルトやギヤケースの締付ボルトはよく確認し、異常がある場合は修理を行ってください。絶対に異常があるまま使用しないでください。
5. エンジンの冷却用空気の取り入れ口や出口にゴミなどが詰まっていないか確認してください。
   空冷式エンジンのため冷却用空気の通り道がふさがれていると、故障の原因になります。
6. エアクリーナの汚れを点検してください。エアクリーナの汚れは、運転状態や燃費に影響します。
7. 点火プラグにゆるみがないか、点火プラグキャップが外れていないかを点検してください。
8. 刃物は『欠け』『ひび割れ』『まがり』などの異常がないものを使用してください。
   異常がある場合は、絶対に使用しないでください。人身事故や物損事故および、死亡事故の原因となります。
9. セーフティガード(飛散防護カバー)、ショルダーバンドは必ず取り付けてください。

▲警告：燃料・給油に関する注意事項

1. 火気厳禁:機械のそばで、喫煙やたき火をしないでください。
2. 火気厳禁:燃料給油時は火気を近づけないでください。燃料に引火し火災の原因になります。
3. エンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して機械を平坦な場所に置いてください。
4. 機械を地面に置き、作業者の手のひらを地面に押し当てるなどして静電気を除去してから燃料給油をしてください。
5. エンジン運転中またはエンジンが熱い状態でタンクキャップを外したり燃料給油をしないでください。
6. 劣化した燃料は使用しないでください。エンジン不調の原因となります。
7. 燃料給油後はタンクキャップを確実に締め、少しでもこぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。
8. 燃料を運搬、保管する際は、鋼板製のガソリン携行缶を使用してください。
9. ポリ容器での運搬や保管は、法律で禁止されており、火災の原因となります。
10. 燃料は、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

▲警告：運搬時の注意事項

1. エンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認してください。
2. 運搬および作業場所の移動は、刃物を前向きにして持ち運んでください。
3. 刃物に移動カバーを装着してください。ただし、ナイロンカッターをご使用の場合、移動カバーは不要です。
4. 肩にかけたまま、自転車やバイクの運転は絶対にしないでください。
5. 車で運搬する場合は、燃料タンクから燃料を抜き、機械が移動しないようにしっかり固定し、刃物を外すかまたは移動カバーを取り付けてください。

▲警告：エンジン始動時の注意事項

1. 周囲(機械から半径15m以内)に人や家畜がいないことを確認してください。作業者から半径15m以内は危険区域です。
2. 燃料を入れた場所から3m以上離れた場所で始動してください。
3. 安定した地面の上で始動してください。
4. 始動時に刃物が回転する場合がありますので、刃物が地面や他のものに触れないようにしっかり保持してください。
5. 燃えやすいものの近くにマフラーの排気口を向けないでください。
6. 始動グリップを引くときは、後方に障害物がないことを確認してから行ってください。
7. 屋内や換気の悪い場所で運転しないでください。エンジンの排気ガスは有害です。吸わないように注意してください。

▲警告：エンジン停止時の注意事項

1. エンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認してください。
2. 機械を置くときは、平坦な場所を選び、傾かず安定した状態にしてください。
3. 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくエンジン本体やマフラー等に触れないでください。

⚠警告： 作業時の注意事項

1. ハンドルやグリップはしっかり握り、転倒しないように両足を適度に開いて体重のバランスを取りながら作業してください。
2. 必要以上にエンジンの回転速度を上げず、作業に適した回転速度に調整してください。
   エンジンの回転速度を上げる場合は急激に上げず、徐々に上げてください。
3. 刃物が回転しているときに手や足を近づけないでください。機械に付着した泥や雑草の巻き付きを取り除くときは、
   必ずエンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して行ってください。
4. 刃物が硬いものに当たった場合、すぐにエンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して点検してください。
   『欠け』『ひび割れ』『まがり』など異常があった場合は作業を中止し、交換してください。その場合、当社純正刃物のみを使用し、
   刈払機に付属している刃物と同じ直径のものをご使用ください。
5. 作業者に近づくときは、15m以上離れた位置から合図し、エンジンおよび刃物が停止した後、前方から近づいてください。
6. 後方から声をかけられたときは、エンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して振り向いてください。
7. 立ち話は絶対にしないでください。
8. 点火プラグキャップに触れないでください。電気ショックを受ける可能性があります。
9. エンジン本体・マフラー等に触れないでください。火傷をすることがあります。
10. 異常な振動が発生した場合は、すぐにエンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して点検してください。

⚠警告： 点検・整備・掃除の注意事項

1. 安全のため、厚手で丈夫な手袋を着用してください。
2. エンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認してください。機械を置くときは、平坦な場所を選び、傾かず安定した状態に
   してください。エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー等が高温のため火傷に注意してください。
3. 不意にエンジンが始動することを防ぐため、点火プラグキャップを外してください。
4. 全体のチリやゴミをよく取り除いてください。とくに刃物周辺、エンジンのエアクリーナや冷却用空気の取り入れ口と出口の掃除を行ってください。
5. 各部にゆるみのないこと、刃物に損傷がないことを点検してください。異常があれば絶対に使用せず、修理・調整を行ってください。
   『欠け』『ひび割れ』『まがり』などのある刃物は使用せず、交換してください。その場合、当社純正刃物のみを使用し、
   刈払機に付属している刃物と同じ直径のものをご使用ください。
6. 刃物の取り付け、取り外しは、本書および刃物に付属の指示に従って正しく実施してください。
7. 燃料漏れやグリス漏れがないか点検してください。火災や故障の原因となります。漏れがある場合は修理してください。
8. 改造は行わないでください。故障や事故の原因となります。
9. 取り外した部品はすべて取り付けてからエンジンを始動してください。
10. 定期点検整備一覧表に記載されていない箇所の点検、整備は販売店にご用命ください。
11. 部品または機械を廃棄する場合は、販売店にご相談ください。

⚠警告： 長期保管の注意事項

1. 燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料中の不純物が気化器や燃料フィルター等の燃料通路に詰まり、
   エンジン不調の原因となります。
2. 損傷箇所は修理してください。部品・消耗品はすべて当社純正部品または指定部品をご使用ください。
3. 刃物によるけがが防止のため、刃物には付属の移動カバーを取り付けてください。（ナイロンカッターの場合、移動カバーは不要です。）
4. 各部を十分掃除し、金属部分には少量のオイルを塗ってください。
5. 湿気の少ない場所にチリやゴミが付着しないように保管してください。
6. シートカバーをかける場合は、エンジンが冷えていることを確認してください。エンジンが熱い状態では、火災の原因となります。

●マークについて

この取扱説明書では、とくに重要と考えられる取り扱い上の注意事項について下記の『マーク』を使用して説明しております。

⚠ 危険	：注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	：注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	：注意事項を守らない場合、けがを負うおそれがあるものを示します。
取り扱いのポイント	：刈払機の性能を最大限に発揮するための説明をしています。 守らない場合、本来の性能を発揮できません。また故障の原因になることがあります。

A. ラベルについて

安全にご使用いただくために『⚠ラベル』を機械に貼り付けています。
安全上、とくに重要な項目を表示しておりますので、記載内容を守り、安全な作業をしてください。

- ラベルをすべて読み、十分ご理解したうえでご使用ください。
- ラベルが破損したり、読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。
- ラベルが付いている部品を交換する場合は、新しいラベルを購入し貼り付けてください。

●⚠ラベル表示の意味

貼付位置① 46008-341

注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意事項を守らない場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

人や家畜の立ち入りを禁止します。

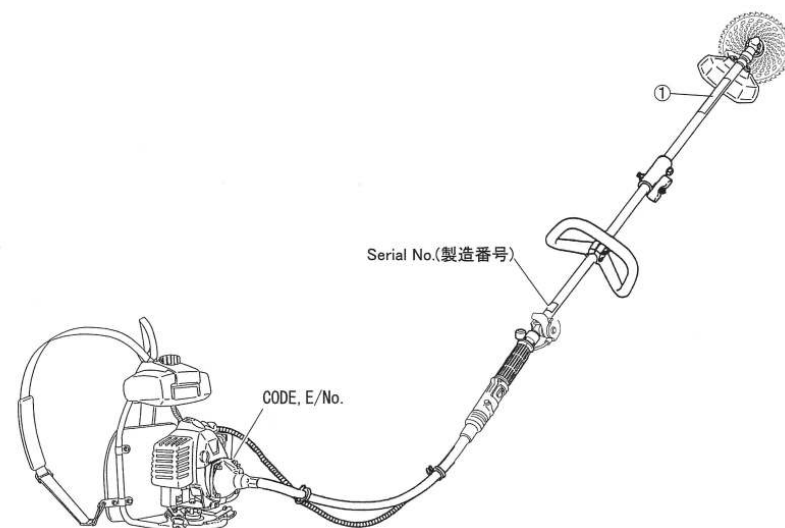
作業中に人身事故が起きるおそれがありますので必ず、防護具を着用してください。（防護メガネ、保護帽、耳栓など）

排気ガスを吸わないように注意してください。

引火のおそれがあります。火気を近づけないでください。

●製造番号ラベルについて

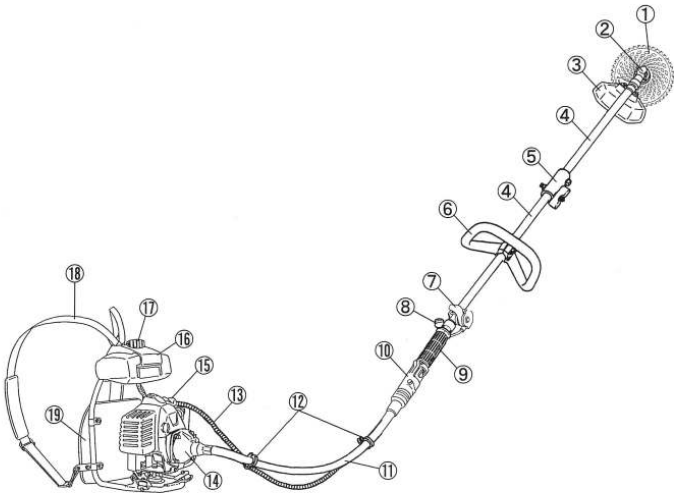
- 刈払機には「Serial No.(製造番号)」ラベルを貼り付けています。
  エンジンには型式・製造番号を示す「CODE,E/No.」ラベルを貼り付けています。
- ラベルをはがさないでください。
  サービスについてのお問い合わせや部品などのご用命の際には
  製造番号 が必要となることがあります。

【ラベル貼付位置】

B. 製品仕様

● 改良等のため、この仕様は予告なく変更することがあります。

型		式	VRP490
本機	伝達方法		自動遠心クラッチ・スパイラルベベルギヤ
	減速比		13:19
	刃先回転方向		左(上視)
	ハンドル仕様		シングルハンドル
エンジン	型式名		TU43
	形式		空冷2サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン
	総排気量		42.7cm³
	出力		1.27kW
	気化器		ダイヤフラム式
	点火方法		無接点式マグネト点火
	使用燃料		混合比 ガソリン : 2サイクルエンジン専用オイル*1 50 : 1
	燃料タンク容量		1.3ℓ
重量 (ISO11806 準拠)*2			10.8kg
メインパイプ部の長さ			1, 506mm
フレキシブルシャフト部の長さ			878mm
標準指定刃物			チップソー(φ230mm)

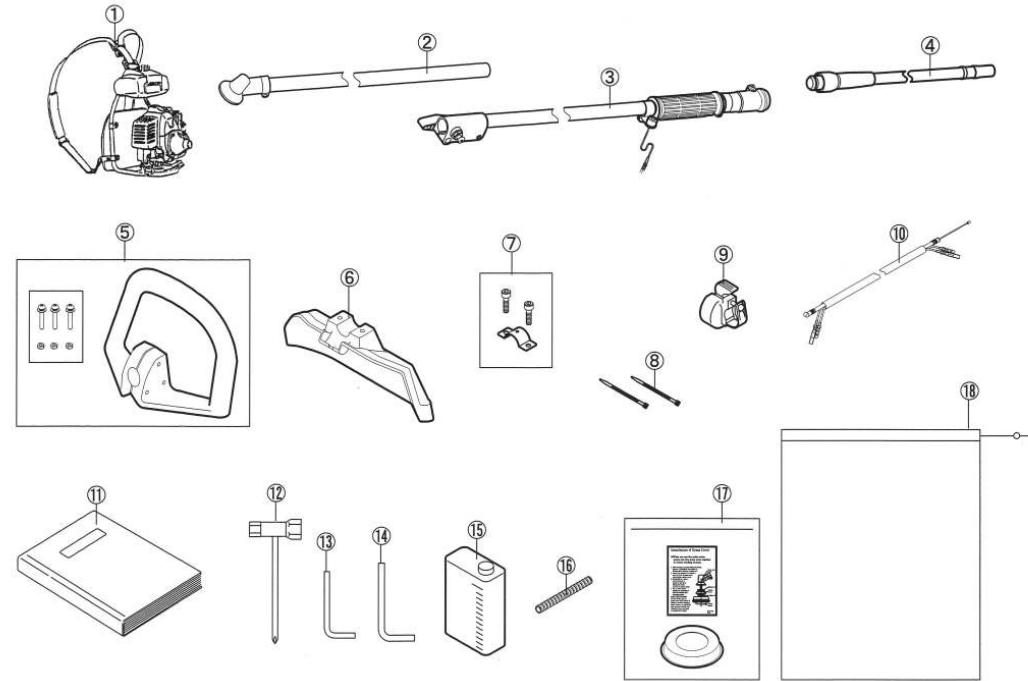
*1・・・2サイクルエンジン専用オイル(JASO規格FC級)をご使用ください。
*2・・・刃物、ショルダーバンド、燃料を除いた重量。

C. 主な名称

1. 刃物
2. ギヤケース
3. セーフティガード (飛散防護カバー)
4. メインパイプ
5. パイプジョイント
6. シングルハンドル
7. スロットルレバー
8. ストップスイッチ
9. メイングリップ
10. フレキコネクタ
11. フレキ
12. ワイヤバンド
13. 保護チューブ (内側にスロットルワイヤ・リード線)
14. クラッチケース
15. 点火プラグ
16. 燃料タンク
17. タンクキャップ
18. ショルダーバンド
19. 背当

D. ご使用前の準備

荷箱からそれぞれの部品を取り出してください。
下記の部品があることを確認してください。
ダメージ(損傷)の有無を確認してください。

万一、欠品やダメージ(損傷)があれば、すぐに販売店へ連絡してください。

●梱包部品と名称

No.	部品名称	個数
1	背負部(エンジン部)	1
2	メインパイプ部(ギヤケース側)	1
3	メインパイプ部(フレキコネクタ側)	1
4	フレキ部	1
5	シングルハンドルセット	1
6	セーフティガード(飛散防護カバー)	1
7	セーフティガードバンドセット	1
8	ワイヤバンド	2
9	スロットルレバー	1

No.	部品名称	個数
10	スロットルワイヤASSY	1
11	取扱説明書	1
12	プラグボックス13×19+ドライバ付	1
13	六角L形レンチ 4mm	1
14	六角L形レンチ 5m	1
15	混合器	1
16	保護チューブ	1
17	グラスカバーセット	1
18	収納袋	

E. 組立

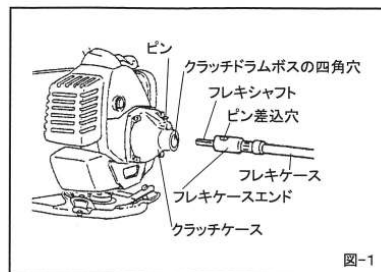
この背負式刈払機は、背負部（エンジン部）・フレキ部・メインパイプ部に分かれています。
下記の要領と手順で組み立ててください。

⚠ 注意	・各部品を正しく、ゆるみ等ないように組み立ててください。組み立てを誤ると事故を招く恐れがあります。 ・ご自身で組み立てが困難な場合は、販売店にご相談ください。

●背負部（エンジン部）とフレキ部の接続（図-1）

図-1

1. クラッチケースのピンの位置にフレキケースエンドのピン差込穴を合わせ、フレキシャフトをクラッチドラムボスの四角穴の向きに合わせてください。
2. ピンを引き上げ、ゆっくりとクラッチケースにフレキケースエンドを差し込んでください。
3. ピンを、フレキケースエンドのピン差込穴に挿入してください。
4. 挿入後、フレキケースを引っ張ってみて、抜け止めが確実であることを確認してください。

●フレキ部とメインパイプ部の接続（図-2）

メインパイプ部
シャフトコネクタ
ボルト
フレキシャフト
フレキコネクタ
フレキケースエンド
フレキケース
フレキシャフト部
図-2

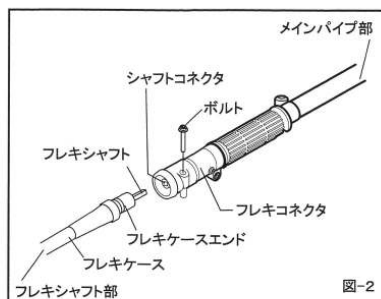
1. ボルトをゆるめ、取り外してください。
2. フレキシャフトをフレキコネクタ内部のシャフトコネクタにかみ合わせ、奥まで差し込んでください。
3. フレキコネクタにフレキケースエンドを奥まで差し込んでください。
4. ボルトをフレキコネクタに取り付け、確実に締め付けてください。
5. 締め付け後、フレキケースを引っ張ってみて、抜け止めが確実であることを確認してください。

●ハンドルの取り付け（図-3）

図-3

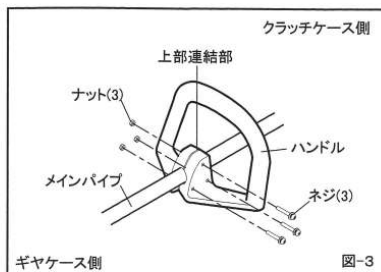
1. ハンドル取付部の上部連結部は、変形防止のため出荷状態ではつながっています。押し拡げることにより、簡単に切れます。
2. 切った状態でメインパイプの作業姿勢に合わせた位置に取り付けてください。
3. 3本の締付ネジの内、最初に上部1本を仮り締めしてください。
4. 次に下部2本を均等に仮り止めしてください。
5. メインパイプとハンドル取付部がピッタリ合うよう3本のネジとナットでしっかり固定してください。

●メインパイプの接続（図-4）

図-4

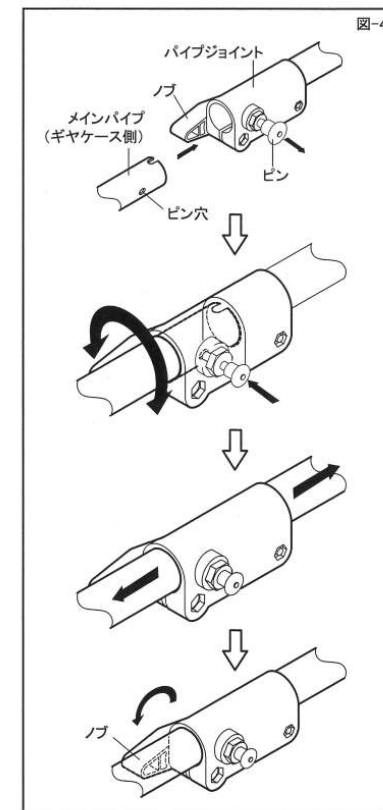
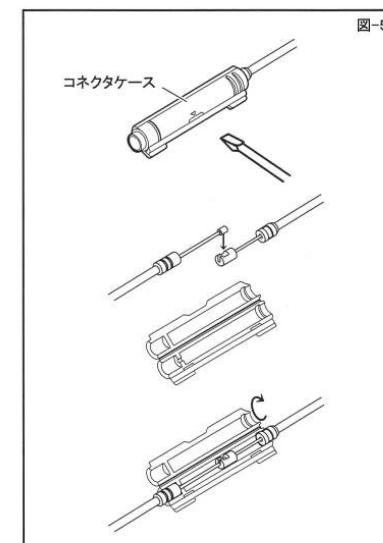
1. 平らな場所を選定してください。
2. ピン穴とピンの方向を合わせてください。
3. ピンを矢印の方向に引っ張りメインパイプをゆっくり挿入してください。
4. パイプジョイントの奥に当たった状態でピンから手を離してください。
5. メインパイプをお互いのスプラインが噛み合うまで少し回転させてください。（スプラインが噛み合うとその状態で奥まで挿入されピン穴にピンが「カチッ」と鳴ってロックされます。）
6. ロックの確認はお互いのメインパイプを強く引っ張って抜けなければOKです。
7. 最後にノブでメインパイプを締め付けてください。

●スロットルワイヤの接続（エンジン側）（図-5）

図-5

1. コネクタケースを開けてください。
2. スロットルワイヤの先端を接続してください。
3. コネクタケースに取り付けてください。
4. コネクタケースを閉じてください。

●スロットルレバーの取り付け及びスロットルワイヤの接続 (図-6)

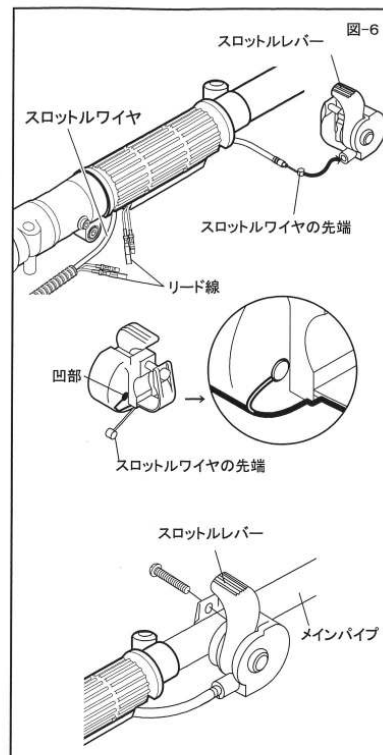
1. スロットルワイヤをメイングリップのワイヤ通し穴に通してください。

2. スロットルワイヤの先端をスロットルレバーの穴に通してください。

3. スロットルワイヤの先端をスロットルレバー凹部にはめ込み取り付けてください。

4. スロットルワイヤの遊びが0.5mm～1.0mmになるようにエンジンのアジャスタで調整してください。
(アジャスタの調整は、11ページを参照してください。)

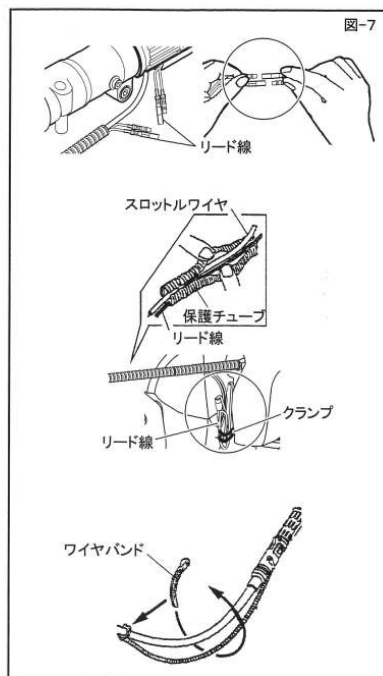
5. スロットルレバーのネジを外してください。

6. スロットルレバーをメインパイプにネジでしっかり固定してください。

●リード線の接続 (図-7)

1. エンジン側とスロットルレバー側のリード線をそれぞれ接続してください。

2. エンジン側のリード線は、まとめてクランプに固定してください。

3. 保護チューブをエンジン側のスロットルワイヤの接続部に取り付けてください。

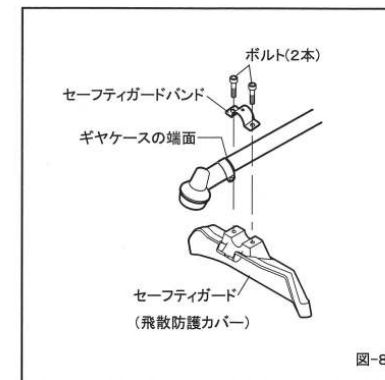
4. ワイヤバンドでフレキに保護チューブを固定してください。

●セーフティガード(飛散防護カバー)の取り付け (図-8)

⚠ 危険	安全のため、セーフティガード(飛散防護カバー)は必ず正しい位置に取り付けてご使用ください。正しく取り付けられていない場合、飛散物により人身事故を引き起こす原因になります。

1. 2本のボルトをセーフティガードバンドの穴へ通してください。

2. セーフティガード(飛散防護カバー)の穴に2本のボルトを合わせ、仮り締めしてください。

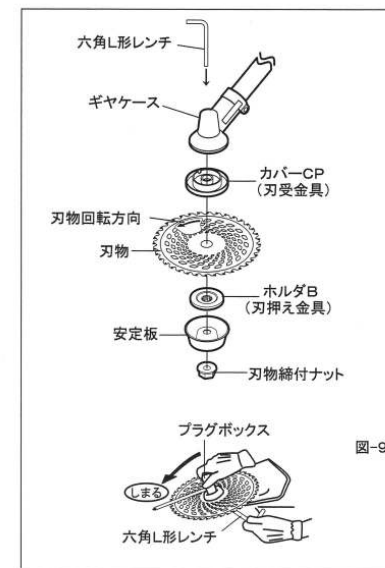
3. セーフティガード(飛散防護カバー)がギヤケースの端面に当たる位置に取り付けてください。

4. 2本のボルトを交互に均等に締め付けてください。
一度に締め付けず、徐々に締めるのがコツです。

●刃物の取り付け (図-9)

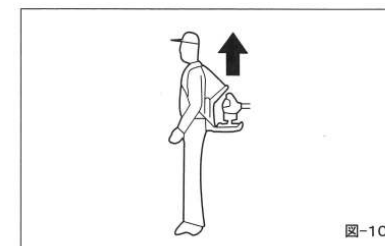
⚠ 危険	・刃物を取り付けるときは、必ず付属のプラグボックスを使用し、適正な締付力で締め付けてください。 ・市販の大型レンチ等で締め付けると、規定締付力をオーバーし、ねじ部が破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

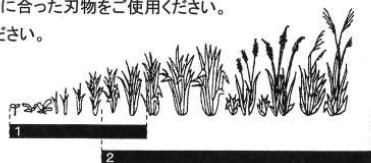
1. カバーCP(刃受金具)・刃物・ホルダB(刃押え金具)・安定板の順に取り付けてください。
2. 刃物の中心の穴が、カバーCP(刃受金具)の凸部に、正しく合っているかとくに注意して取り付けてください。
3. 六角L形レンチでカバーCP(刃受金具)の回り止めをし、刃物締付ナットを締め付けてください。刃物締付ナットは左ねじです。
このとき、刃物で手を傷つけないように注意してください。
移動カバーを取り付けて作業すると安全です。

ねじサイズ	締付力 N・m (kgf・cm)
M10	24.5～29.4 (250～300)

4. 振れ・異音等がないことを確かめてください。振れがあると、運転中に異常な振動が発生し、故障の原因となります。

●ショルダーバンドの取り扱い (図-10)

取り扱いのポイント

・ ショルダーバンドは、作業者の体格にあわせて調整してください。
背負フレームの下面が、作業者の臀部真上辺りになる位置が、もっとも疲労度の少ない作業姿勢です。

F. 刃物の選定

図に示すように、刈る対象物に合った刃物をご使用ください。 ※当社純正刃物をお求めください。		1	2
	名 称	ナイロンカッター	チップソー
	形 状		
	適用範囲	柔らかい背の低い雑草まで	ややかたい雑草まで

⚠注意	雑草刈り専用です。木や灌木は、切らないでください。

G. 使用燃料

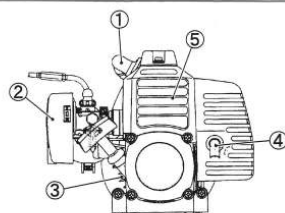
⚠危険	・火気厳禁です。火気に十分注意して取り扱ってください。 ・少しでもこぼれた燃料は、拭き取ってください。火災の原因になります。 ・誤った混合比の燃料を使用した場合、故障の原因になります。 ・ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付き、故障します。 ・必要以上の燃料は、用意しないでください。 ・燃料およびガソリンの運搬や保管は法令を遵守してください。

ガソリンの量	1ℓ	3ℓ	5ℓ
2サイクルエンジン専用オイル [混合比 50：1]	20cc	60cc	100cc

レギュラーガソリンに2サイクルエンジン専用オイルを規定量混合した燃料を使用してください。
2サイクルエンジン専用オイル(JASO規格FC級)をご使用ください。

H. エンジンの始動と停止

●各部の点検 (図-11)

① 点火プラグキャップ………………ゆるんでいませんか？点検してください。
② エアクリーナ……………………エレメントが汚れていませんか？掃除してください。
③ 冷却用空気の取り入れ口…………
④ 排気出口……………………………ゴミ等が詰まっていませんか？掃除してください。
⑤ 冷却用空気の出口…………………

各部のねじはゆるんでいませんか？　図-11

●スロットルワイヤの調整 (図-12)

スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバーが低速(アイドリング)位置の状態で0.5～1.0mmが最適です。

遊びが多いと、最高回転数が低くなることがあります。
遊びがないと、始動時に刃物が回転することがあります。

1. スロットルレバーを低速(アイドリング)位置にしてください。
2. スロットルワイヤ調整ネジでスロットルワイヤの遊びを調整してください。

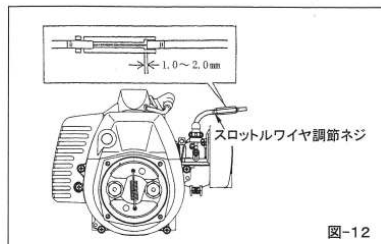
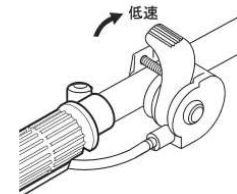
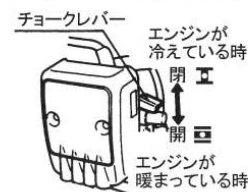



図-12

●エンジンの始動

⚠注意	・エンジン始動直後はエンジン各部に潤滑油が十分に行き渡っておりませんので、急激に回転を上げないでください。 ・スロットルレバーを全開にした高速運転は、エンジンの寿命に悪影響を及ぼすばかりでなく、故障の原因となりますので、無負荷高速回転(カラ吹かし)や不必要な高速回転でのご使用は避けてください。 ・エンジン始動直後、刃物が回転する場合があります。刃物を地面より浮かせ、雑草・木等に触れないようにしっかり保持してください。 ・エンジン始動時には必ず機械を保持し、周囲に人や障害物のないことを確認してください。 ・始動後は必ず暖機運転を行い、アイドリング回転が安定した後作業を始めてください。

1. スロットルレバーを低速(アイドリング)位置にしてください。(図-13)

2. 燃料コックを開いてください。(図-14)
(気化器に燃料が充満するまで1～2分要します。)

3. チョークレバー操作を行ってください。(図-15)
【寒いときや、エンジンが冷えている場合】
全開位置(マーク側)にしてください。
【暑いときや、エンジンが暖まっている場合】
全開位置(マーク側)にしてください。

4. リコイル操作を行ってください。(図-16)

⚠注意	・引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。 ・始動グリップを戻すときは、途中で手を離さないでください。 ・リコイルの引き方向が正しくないと、ロープが他部品に干渉し、早期に切れることがあります。

1) 機械を安定した地面に置いてください。

2) 片手でメインパイプを持ち、背負フレームの下部を踏んで機械を固定してください。

3) 始動グリップを握り、重くなる位置まで軽く引き出してください。

4) 止めた位置から勢いよく引っ張ってください。
(エンジンが始動します。)

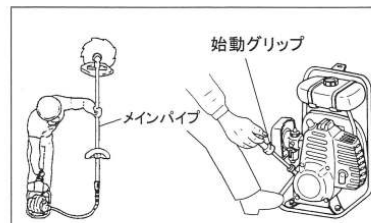



図-16

5. エンジンが始動したらエンジン回転の様子をみて徐々にチョークレバーを全開位置（▣ マーク側）にしてください。（図-17）

6. スロットルレバーを低速（アイドリング）位置にした状態で、約2～3分間暖機運転を行ってください。（図-18）

取り扱いのポイント

エンジン始動後、スロットルレバー操作前や操作中に停止した場合は、チョークレバーを全開位置（▣ マーク側）に戻して、始動操作を行ってください。

●背負方法

1. 次の順で背負ってください。（図-19）

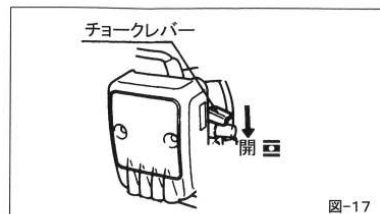
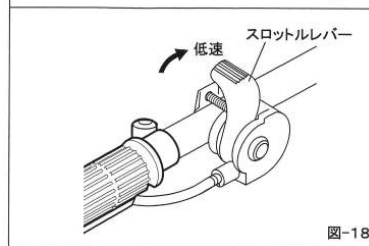
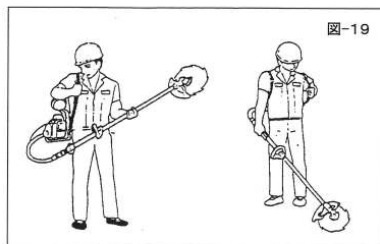
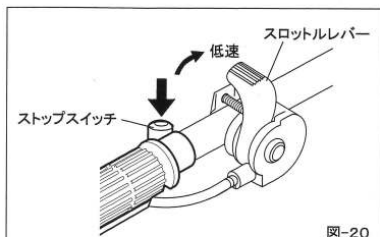
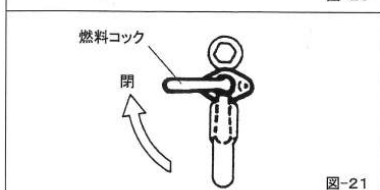
   1）左手でメインパイプを持った状態で右肩にショルダバンドをかける。

   2）メインパイプを右手に持ちかえる。

   3）左肩にショルダバンドをかける。

●停止（図-20）

1. スロットルレバーを低速（アイドリング）位置にしてください。

2. ストップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押し続けてください。

3. 引き続きあとの作業がない場合は燃料コックを閉じてください。（図-21）

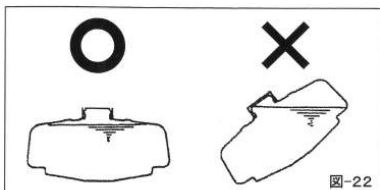
取り扱いのポイント

- 長時間作業する場合、燃料切れでエンジンが停止するまで使用せず、少し燃料を残した状態で補給するほうが補給後の始動が容易になります。
- 次の作業がない場合、燃料をすべて抜き取ってください。
  （燃料の劣化を防ぐため）
  1. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
  2. エンジンを再始動し、エンジンが停止するまで運転してください。
     （気化器内の燃料を使い切るため）

⚠ 警告

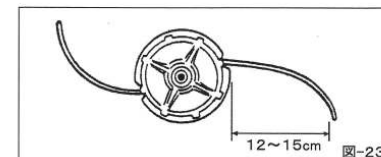
- 休憩などで機械を停止したときは、エンジンを水平に置いてください。機械が傾き、燃料がタンクキャップの内部まで浸る状態は避けてください。燃料が漏れる可能性があります。（図-22）
- 運転中および停止直後は火傷防止のためエンジン本体、とくにマフラー部に触れないでください。

I. 操作方法

警告

- 作業を行う場合は、耳栓、防護メガネ、安全靴、手袋、保護帽を必ず着用してください。
  また、足場はしっかりとした場所を選び、周囲の状況に十分注意を払ってください。
- ハンドル、グリップは、しっかり握ってください。
- 刃物の右半分で雑草を刈らないでください。硬いものに当たった場合、キックバック（跳ね返り）が生じ危険です。
- 刃物が硬いものに当たった場合、すぐにエンジンを停止し、刃物の回転が停止したことを確認して点検してください。
  『欠け』『ひび割れ』『まがり』など異常があった場合は作業を中止し、交換してください。
  その場合、当社純正刃物のみを使用し、刈払機に付属している刃物と同じ直径のものをご使用ください。

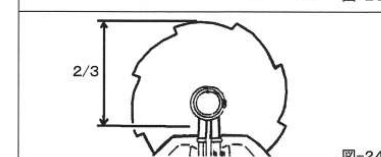
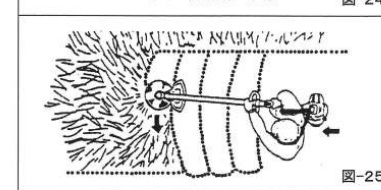
● ナイロンカッター（図-23）

- ナイロンカッターのコードは、12～15cmが限度です。
  コードを長くし、低速回転のまま連続作業をするとクラッチ部が発熱し、破損するおそれがあります。

- エンジンの回転速度は、8,000rpm～10,000rpmを目安として、雑草の抵抗に合わせて調整してください。

● 刃物の使い方（図-24）

- 能率よく雑草を刈るには刃物径の2／3の範囲を使用してください。

- キックバック（跳ね返り）防止のため刃物の右半分で雑草を刈らないでください。

- エンジンの回転速度は、6,500rpm～8,000rpmを目安として、雑草の抵抗に合わせて調整してください。

●効率的作業（図-25）

取り扱いのポイント

- 刃物は左回転のため、右から左へ雑草を寄せるように刈ると、能率よく作業が行えます。
- 作業はゆとりをもって行ってください。 腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスをとってください。
- エンジンの回転速度をむやみに上げず雑草の抵抗に合わせて調整してください。
- 刃物はこまめに点検し、異常があった場合は販売店へご相談ください。必要に応じ交換してください。

J. エンジンの調整

⚠ 注意	・記載以外の調整は行わないでください。気化器の燃料調整は、工場出荷時に最適調整してあります。 むやみに調整しないでください。故障の原因となります。 ・気化器の不調は最寄りの販売店にご相談ください。

●アイドリング回転調整 (図-26)
スロットルレバーを低速(アイドリング)位置にして、スロットルワイヤに遊びがあることを確認したら、始動してください。
暖機運転後にスロットルレバーが低速(アイドリング)位置で下記現象があれば、調整してください。

1. 刃物が回転する。(アイドリング回転数が高い。)
調整方法:低速調整ねじを左に回すと、回転速度が下がります。
※下げ過ぎるとエンジン始動が出来なくなります。

2. エンジンが停止しそうになる。(アイドリング回転数が低い。)
調整方法:低速調整ねじを右に回すと、回転速度が上がります。

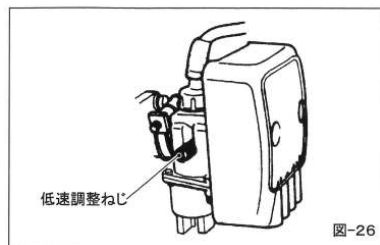



図-26

K. 点検・整備のしかた(エンジン)

⚠ 注意	各通気孔がゴミや異物で塞がると燃料が気化器へ流れなくなり、 エンジンの始動不良や回転不調の原因になります。

エアクリーナの掃除 (図-27)
1. エレメントをガソリンで洗浄してください。
2. エレメントをエンジンオイルに浸し固く絞ってください。

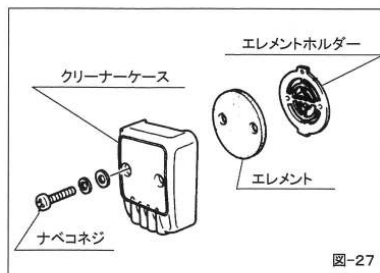



図-27

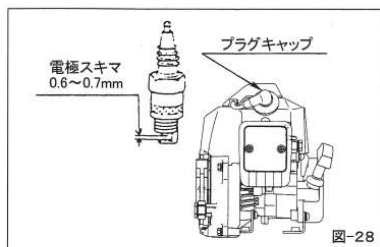
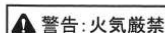
各締め付け箇所の点検
各締め付け箇所のゆるみや部品の脱落がないかを点検してください。
ゆるみがある場合は、増し締めしてください。

点火プラグの掃除と整備 (図-28)
1. 電極およびガイシ部に堆積しているカーボンを掃除してください。
2. 電極スキマを0.6〜0.7mm(官製ハガキ3枚の厚み)に調整してください。

図-28

燃料ストレーナの掃除 (図-29) ⚠ 警告:火気厳禁
1. バンジョウボルトを気化器から外してください。
2. ストレーナを清掃してください。
※(両面のパッキンを紛失しないようにしてください。)

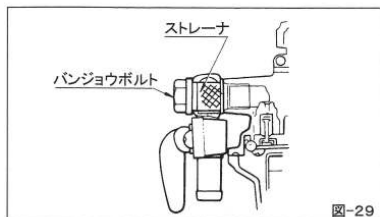



図-29

カーボン落とし
マフラー出入口、シリンダ、ピストンのカーボン除去は、
エンジン整備の技術および道具を要しますので、販売店へご相談ください。

L. 始業点検・定期点検整備一覧表

安全にご使用いただくために、定期的に点検、整備を行ってください。
摩耗した部品、損傷した部品は交換し、刃物はこまめに手入れして正しく使用できる状態にしてください。
ご自分で点検、整備ができない場合は、販売店にご相談ください。

点検整備項目	点検整備時間			
	始業点検	作業後	25時間毎	100時間毎
刃物の点検	☆			
刃物締付ナットの締付点検	☆			
ギヤケースの締付ボルトの点検	☆			
セーフティガード(飛散防護カバー)の点検	☆			
各ねじ類の締付点検	☆			
エアクリーナの点検	☆			
点火プラグの点検	☆			
メインパイプの点検	☆	☆		
ギヤケースの掃除		☆		
ギヤケースのグリス補給			☆	
クラッチドラムの掃除				☆
フレキシャフトのグリス塗布(フレキシャフト仕様の機種のみ)			☆	

●ギヤケースのグリス補給(25時間毎) (図-30)
グリスは、リチウム系万能グリス2号をご使用ください。
1. ギヤケースの締付ボルト2本をゆるめてギヤケースをメインパイプから取り外してください。
(刃物を外してから行ってください。)
2. 注入穴のボルトを外してグリスを注入してください。
補給の目安としては、シャフトの穴からグリスが出るまで注入してください。
3. 注入後は、出てきたグリスを拭き取り、元通りにボルトを取り付けてください。

●ギヤケースの掃除 (図-31)
作業が終わった後は、カバーCP(刃受金具)を外して、内側に入った雑草などをきれいに拭き取ってください。

●刃物の研磨
ご使用の刃物に合った研磨方法で研磨してください。
詳しくは、販売店にご相談ください。

図-30
図-31

M. 長期保管のしかた

長期保管をする場合は、下記項目を実施後に保管してください。

取り扱いのポイント
- エンジン、スロットルレバー、電気配線部には水をかけないでください。
エンジン始動不良の原因となります。
- 塩分の強い貯蔵物や肥料と同じ場所は錆が発生しやすいので保管を避けてください。
- 燃料は自然に劣化します。2週間以上使用しない場合、
燃料タンク、燃料ホース、気化器内の燃料を抜いてください。
- 保管前に機械を点検、整備し、最良の状態としておくことが安全な作業につながります。

● 機械の掃除
1. 泥、ゴミ、雑草などを取り除き、汚れをきれいに拭き取ってください。
2. 刃物は機械から取り外し、きれいに水洗いして刃先を手入れしてください。

● 錆止め
1. メッキのはがれ、発錆箇所はきれいに錆を落し、防錆処理をしてください。
2. 塗装のはがれは、補修塗料を塗ってください。

● 保管
1. 燃料タンクの燃料を完全に抜き取った後に、気化器のドレインを開き、気化器内及び燃料ホース内の燃料を抜き取ってください。
2. 点火プラグを外し、プラグの穴から新しい2サイクルエンジン専用オイルを少量流し込み、始動グリップでゆっくり数回空転させた後、点火プラグを取り付け、再び始動グリップを引き、重く感じる位置で止めてください。
3. エアクリーナなどを点検し、掃除、乾燥させた後、すべてを取り付けてください。
4. 機械の掃除、点検、整備を終えたら、風通しのよい平坦な乾燥した屋内を選び保管してください。
5. 保管の際、機械にチリやゴミが付着しないように機械にシートを掛けてください。

N. 故障・修理早見表

	現　　象	原　　因	処　　置	参照頁
本機	エンジンは動いているが刃物が回らない	刃物締付ナットの締め付け不良	締め付ける	10
		メインシャフトの摩耗	販売店に相談する	–
		ギヤケース内のギヤの摩耗	販売店に相談する	–
		クラッチの摩耗	販売店に相談する	–
	刈れない	刃物を回転方向に対して逆に取り付けている	正規に取り付ける	10
		刃先が摩耗している	研磨するまたは交換する	16
	異常な振動が出る	刃物が変形している	交換する	10
		刃物の取り付けが不完全	カバーCP(刃受金具)に正しく取り付ける	10
		刃物に雑草が巻き付いている	取り除く	16
エンジン	始動しない	点火プラグキャップが外れている	しっかり接続する	15
		点火プラグの不良	交換する	15
		燃料の吸い過ぎ	点火プラグを乾かす	15
		粗悪燃料	新しい燃料と交換する	11
		燃料に水の混入	新しい燃料と交換する	–
		気化器の不調	販売店に相談する	15
	始動後、回転が上がらない	燃料混合比の誤り	正しい混合比の燃料と交換する	11
		燃料に水の混入	新しい燃料と交換する	–
		気化器の不調	販売店に相談する	15
	回転は続くが出力が十分でない	エアクリーナエレメントの汚れ	掃除する	15
		シリンダ排気孔およびマフラー出入口にカーボンが詰まっている	販売店に相談する	15
		圧縮不足	販売店に相談する	–
	運転中、回転が次第に下がり停止する	燃料系統にゴミなどが詰まっている	燃料フィルターを掃除する	15
		冷却風の出入口にゴミが詰まっている	掃除する	–
		タンクキャップの空気穴にゴミが詰まっている	掃除する	–
		燃料に水の混入	新しい燃料と交換する	–

※故障・修理早見表で対応できない場合は、販売店へご相談ください。

PARTS LIST
VRP490

46012-425

見出番号	部品Lv.	部品番号			部品名称	数量	備考
1	1	71008	359		ギヤケースASSY	1	
2	2	51079	119		カバーCP	1	
3	2	11002	145		ホルダB	1	
4	2	31001	106		刃物締付ナット	1	
5	2	11027	119		安定板	1	
6	2	322N	0810		ボルトプラス	1	M8x10
7	2	412N	0525		スクリューソケット	1	M5x25
8	2	413N	0515		スクリューソケット(SW)	1	M5x15
9	1	71009	378		メインパイプASSY	1	
10	2	71130	153		メインパイプCP	1	
11	2	36011	104		メイングリップ(R)	1	
12	2	71077	123		フレキコネクタASSY	1	
13	3	423N	0535		スクリューソケットフランジ	1	
14	1	71130	154		メインパイプCP	1	
15	1	71249	101	104	パイプジョイントASSY	1	
16	1	64011	276		メインシャフト	1	
17	1	64011	217		メインシャフト	1	
18	1	36029	110		ゴムブッシュ	2	
19	1	91010	187		スロットルレバー	1	
20	1	71015	189		フレキASSY	1	
21	2	64007	169		フレキケースCP	1	
22	3	217B	2500		Oリング (JASO-2500)	1	
23	2	64021	135		フレキシャフト	1	
24							
25	1	71148	167		ストップスイッチASSY	1	

本機部					1/2	2014,06.19	
見出番号	部品Lv.	部品番号			部品名称	数量	備考
26	1	68028	103		ワイヤバンド	2	
27	1	71060	121		スロットルワイヤASSY	1	
28	1	41003	128		保護チューブ	1	
29	1	71010	272		クラッチケースASSY	1	
30	2	31034	197		ピン	1	
31	2	68013	135		スプリング	1	
32	2	36065	254		カバー	1	
33	2	828V	0400		スナップリング(UTW)	1	
34	1	416N	0620		スクリューソケット(SW,PW)	4	M6x20
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

PARTS LIST
VRP490

46019-425

見出番号	部品Lv.	部品番号			部品名称	数量	備考
1	1	36122	112	42	背負フレーム	1	
2	1	11044	171		ベース	1	
3	1	91027	138		背当	1	
4	1	11121	106	104	防振サポートCP	1	
5	1	11020	111		エンジンサポート	1	
6	1	31013	102		ベースボルト	1	
7	1	11018	118		タンクステー	1	
8	1	11113	273		ステー	1	
9	1	583L	0800		ナットキャップフランジ	1	M8
10	1	71141	105		フュエルタンクASSY	1	
11	2	36066	107		フュエルタンク	1	
12	2	36013	117		燃料ホース	1	
13	2	68015	107		ホーススプリング	1	
14	2	68031	124		ホースバンド	1	
15	1	91095	111		タンクキャップ	1	
16	1	36074	102		フュエルストレーナ	1	
17	1	91096	101		ブリーザ	1	
18	1	61019	139		パッキン	1	
19	1	36006	104		アブソーバ	2	
20	1	36005	111		防振ゴム	3	
21	1	35015	101		ストッパゴム	1	
22	1	318L	0612		ボルトプラス(SW)	4	M6x12
23	1	315L	0630		ボルトプラス(SW,PW)	1	M6x30
24	1	571L	1000		ナットフランジ	2	M10
25	1	571L	0600		ナットフランジ	7	M6

背負部					2/2	2014,06.19	
見出番号	部品Lv.	部品番号			部品名称	数量	備考
26	1	11011	123		クランプ	3	
27	1	318L	0512		ボルトプラス(SW)	3	M5x12
28	1	11021	101		背当取付金具	2	
29	1	11021	105		背当取付金具	2	
30	1	315L	0520		ボルトプラス	6	M5x20
31	1	36063	194		ショルダバンド	1	
32	1	36046	164		セーフティガード	1	
33	1	71038	166		セーフティガードバンドセット	1	
34	2	412N	0615		スクリュソケット	2	M6x15
35	2	11029	110		セーフティガードバンド	1	
36	1	68031	124		ホースバンド	1	
37	1	71304	120		シングルハンドルセット	1	
38	2	51023	155		シングルハンドル	1	
39	2	71052	125		ハンドル取付ボルトセット	1	
40	3	374L	0535		スクリュープラスナベ(SW,PW)	3	M5x35
41	3	512L	0500		ナット(2)	3	M5
42	1	11011	121		クランプ	1	
43	1	66006	117		プラグボックス	1	17x19
44	1	66007	103		六角L型レンチ	1	4
45	1	66007	104		六角L型レンチ	1	5
46	1	71011	124		グラスカバーセット	1	
47	1	36045	101		混合器	1	
48							
49							
50							